

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医務費

事業名 女性医師等就労支援事業費

(地域医療介護総合確保基金)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療福祉連携推進課 医療人材確保係

電話番号：058-272-1111 (内 2626)

E-mail：c11230@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,806 千円 (前年度予算額：2,806 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,806	0	0	0	0	0	2,806	0	0
要求額	2,806	0	0	0	0	0	2,806	0	0
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

近年、医師国家試験の合格者に占める女性の割合は約 1/3 となっており、今後女性医師の占める割合が増加していくと考えられるが、本県では県内医療施設に従事する女性医師割合が全国平均よりも低い。

医療施設従事女性医師割合	全国平均	20.4%
〃	岐阜県	18.0%

女性医師が働きやすい職場環境を整備することで、女性医師の離職防止・再就業を促進し、県内医療施設従事医師を確保していく必要がある。

(2) 事業内容

- ア 女性医師等の相談窓口の設置及び相談員の養成
- ・ 保育サービスや就労制度に関する情報収集・提供
 - ・ 子育て支援についての相談対応
 - ・ 病院内の相談に応えられる人材の養成・確保
 - ・ インターネットを活用した情報提供・相談対応
- イ 女性医師等の就労環境等に関する講演会の開催
- ・ 医学生・女性医師向け講演会
 - ・ 新研修医向けワークライフバランスに関する講演会
 - ・ 講演会に出席できない女性医師向け院内研修への助成
- (委託先) 一般社団法人岐阜県医師会

(3) 県負担・補助率の考え方

事業費全額について地域医療介護総合確保基金を充当

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	56	男女共同参画フォーラムへの出席
委託料	2,750	相談員養成研修・管理者向け講演会等の委託
合計	2,806	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県長期構想

第7期岐阜県保健医療計画

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

育児中・介護中等の女性医師等が働きやすい、働き続けられる勤務環境づくりを進め、女性医師に限らず医師が働きやすい職場を整備し、県内の医師不足の解消を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
女性医師等相談窓口の設置	0箇所 (H22)	25箇所 (H23)	(H)	29箇所 (H28)	40箇所 (R5)	72.5%

○指標を設定することができない場合の理由

--

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

○岐阜県医師会、地域医師会、県内の臨床研修病院に女性医師等相談窓口を設置。

○女性医師等相談員養成のための研修会、女性医師等就労継続支援講演会を開催予定。（令和2年10月現在）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

県内における保育サービスや制度等、子育てと就業を両立するための情報提供や、相談対応等を行うために、地域の医師会や病院等に相談窓口を設置し、相談員の養成を行った。

女性医師等が働きやすい職場環境の必要性について、普及啓発を図るための講演会を開催する予定。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	女性医師等が働きやすい職場環境整備についての普及啓発や相談窓口の設置を行うことにより、離職防止や再就業の促進を図り、医師を確保することに繋がるため、必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	事業開始前は、女性医師等の相談窓口は未整備であったが、地域の医師会等に徐々に設置されており、事業効果が表れている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	平成 22 年度より事業を実施しているが、さらなる実効性を図るため医学生や研修医向けの啓発を図る等、事業内容の見直しをしている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>県の医療施設従事医師数における女性医師の割合は、全国平均に比べ下回っている（平成 28 年度「医師・歯科医師・薬剤師調査」（厚生労働省））ため、本県では女性医師が活躍する場はまだ十分残されている。</p>
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>女性医師等が働きやすい環境を整備するため、本事業を継続して行う必要がある。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	